

〔資料〕

近代日本金融史文献目録・後編（タ～ワ）

—— 北海道金融史関係資料を中心として ——

吉 田 賢 一

Bibliography of Literature on the Financial History in Modern Japan (the latter volume)

YOSHIDA Ken'ichi

【タ】

- 『第一銀行五十年小史』長谷井千代松編，同行（第一勸業銀行をへて現みずほ銀行）1926年8月。
- 『第一銀行史』上・下巻，第一銀行八十年史編纂室編，土屋喬雄監修，同行，1957年12月，1958年7月。
- 『第一銀行小史 九十八年の歩み』第一勸業銀行資料展示室編，山口和雄監修，同展示室，1973年6月。
- 『第四銀行百年史』第四銀行企画部行史編集室編，加藤俊彦監修，同行（新潟市東堀前通七番町）1974年5月。
- 平智之「地方銀行の実態と再建整備」後掲，原編『復興期の日本経済』所収，第10章。
- 『台湾銀行四十年誌』名倉善作編，同行，1939年8月。
- 『台湾銀行史』台湾銀行史編纂室編，同編纂室，1964年8月。
- 高岡熊雄回想録編集委員会編『時計台の鐘——高岡熊雄回想録』楡書房，1956年12月。
- 高垣寅次郎『明治初期日本金融制度史研究』（清明会叢書8）財団法人清明会，1972年3月。
- 高橋亀吉『日本財閥の解剖』中央公論社，1930年4月。
- 『日本金融論』東洋経済出版部，1931年12月。
- 『大正昭和 財界変動史』上巻（大正編）東洋経済新報社，1954年1月。
- 中巻（昭和編1）同社，1955年8月。
- 下巻（昭和編2）同，1955年9月。
- 『日本近代経済発達史』全3巻，同，1973年9月，10月，12月。
- 高橋亀吉編『財政経済二十五年史（明治三十九年—昭和七年）』第1・2・3巻「政治篇（上・中・下）」実業之世界社，1932年7，10，11月；復刻版（経済政策資料集成1）国書刊行会，1985年10月。
- 第4・5巻「政策篇（上・下）」同社，1932年11，12月；復刻版（経済政策資料集成1）同会，1985年10月。
- 第6・7巻「財界篇（上・下）」同社，1932年8，9月；復刻版，同会，1985年10月。
- 第8巻「年史・年表・索引」同社，1932年12月；復刻版，第8・9・10巻「年史・年表編」「総目次篇」「索引篇」同会，1985年10月。
- 高橋亀吉・森垣淑『昭和金融恐慌史』新書1，清明会出版部，1968年10月；復刻版，鈴木正俊解説，学術文庫1066，講談社，1993年3月。

高橋是清『随想録』上塚司序，千倉書房，1936年3月。

高橋正衛『二・二六事件——「昭和維新」の思想と行動』新書76，中央公論社，1965年8月；増補改版，新書76，中央公論社，1994年2月。

高村直助『日本資本主義史論』ミネルヴァ書房，1980年4月。

高村直助編『企業勃興——日本資本主義の形成』ミネルヴァ書房，1992年3月。

高群逸枝『招婿婚の研究』社，1953年 月；同（『高群逸枝全集』第2・3巻）理論社，1975年2月。

滝沢直七『稿本日本金融史論』有斐閣書房，1916年5月。

竹内理三・田中彰・宇野俊一・佐々木隆爾編『日本近現代史小辞典』角川書店，1978年12月。

武田英克『満州脱出——満州中央銀行幹部の体験』新書769，中央公論社，1985年6月。

竹沢正武『日本金融百年史』東洋経済新報社，1968年7月。

竹中一雄『長期金融機構の分析』東洋経済新報社，1968年11月。

武吉道一『松永安左エ門さんの憶い出』敬文社，1984年5月。

立協和夫『明治政府と英国東洋銀行』新書1089，中央公論社，1992年8月。

田中彰『小日本主義——近代日本を読みなおす』新書新赤版609，岩波書店，1999年4月。

田中修『日本資本主義と北海道』北海道大学図書刊行会，1986年2月。

田中生夫『戦前戦後日本銀行金融政策史』有斐閣，1980年7月。

——『昭和前期通貨史断章』同，1989年1月。

田中金司『中央銀行・日本銀行論』（『現代金融経済全集』第18巻）改造社，1936年9月。

田中惣五郎『岩崎弥太郎傳』（『日本財界人物伝全集』第2巻）東洋書館，1955年4月。

田邊恒之編『太公を語る』（太刀川善吉遺稿・追悼集）1937年2月。

多摩百年史研究会編『多摩百年のあゆみ』（多摩東京移管百周年記念）けやき出版，1993年4月。

玉置紀夫『日本金融史——安政の開国から高度成長前夜まで』選書505，有斐閣，1994年9月。

——『起業家福沢諭吉の生涯——学で富み富て学び』有斐閣，2002年4月。

玉野井昌夫・長幸男・西村閑也編『戦間期の通貨と金融』（田中生夫先生還暦記念論文集）有斐閣，1982年12月。

【チ】

『地方銀行小史』（地方銀行会館落成記念）牧村四郎編・土屋喬雄監修，社団法人全国地方銀行協会，1961年5月。

地方金融史研究会『日本地方金融史』日経金融新聞編，日本経済新聞社，2003年6月。

『中部電力史略』第3版，中部電力株式会社企画室編，同社，1987年4月。

『中部電力物語——暮らしと産業ささえる知的群像』『名古屋創生』取材班著，名古屋タイムズ社，1998年2月。

『朝鮮銀行二十五年史』渋谷礼治編，同行，1934年12月。

『朝鮮銀行略史』朝鮮銀行史編纂委員会編，同委員会，1960年6月。

『朝鮮銀行史』朝鮮銀行史研究会編，東洋経済新報社，1987年12月。

『朝鮮殖産銀行十年史』守屋徳夫編，同行，1928年10月。

『朝鮮殖産銀行二十年史』本田秀夫編，同行，1938年10月。

長幸男『日本経済思想史研究——ブルジョア・デモクラシーの発展と財政金融政策』未来社，1963年3月。

——『昭和恐慌——日本ファシズム前夜』新書青版876，岩波書店，1973年11月；復刻版，同時代ライブラリー188，同書店，1994年6月；同，岩波現代文庫社会40，同書店，2001年7月。

長幸男編『実業の思想』（『現代日本思想体系』11）筑摩書房，1964年5月。

——『財界百年』（『現代日本記録全集』8）筑摩書房，1969年1月。

【ツ】

辻三郎『金融恐慌』東北北海道社（釧路市鶴ヶ岱）1996年12月。

津島壽一『高橋是清翁のこと』（『芳塘随想』第九集「先輩・友人・人あれこれ 巻一」）芳塘刊行会，1962年10月。

——『森賢吾さんのこと』『上・概描』『下・事績』2巻（『芳塘随想』第十一・十二集「先輩・友人・人

あれこれ 卷三・四）同会，1963年12月，1964年8月。

土屋喬雄『洪澤栄一傳』（『日本財界人物伝全集』第1巻）東洋書館，1955年5月。

——『洪澤栄一』（日本歴史学会編『人物叢書』）吉川弘文館，1989年5月。

——『日本資本主義史上の指導者たち』新書赤版53，岩波書店，1939年11月：特装版，1982年3月。

津本陽『生を踏んで死を恐れず——高橋是清の生涯』幻冬舎，1998年12月。

——『不況もまた良し』幻冬舎，2000年11月（「不景気また良し 松下幸之助伝」『サンケイスポーツ』〈1999年11月1日から2000年5月31日〉連載，を加筆・訂正・改題）。

霧見誠良『日本信用機構の確立——日本銀行と金融市場』有斐閣，1991年9月。

——「戦前期における金融危機とインターバンク市場の変貌」前掲，伊藤ほか編『金融危機と革新』所収，第3章。

【テ】

寺林伸明『鯨漁場資本を基盤とする余市銀行の活動』『北海道開拓記念館調査報告』第26号（1987年3月）所収。

——「鯨漁場資本を基盤とする銀行の活動——特に寿都銀行に関して——」『北海道開拓記念館研究報告』第13号（1993年3月）所収。

寺部鉄治『銀行発達史』森野書房，1953年8月。

暉峻衆三「第四国立銀行」前掲，加藤・大内編『国立銀行の研究』所収，第2章。

伝田功『近代日本経済思想史』未来社，1962年10月。

【ト】

土居晴夫編『坂本龍馬とその一族』新人物往来社，1985年12月。

土居晴夫編・口語訳『坂本直寛・自伝』燦葉出版社，1988年1月。

東京銀行協会調査部・銀行図書館編『本邦銀行変遷史』（経済文庫・銀行図書館創設100周年記念）社団法人東京銀行協会，1998年9月。

東京12チャンネル報道部編『証言 私の昭和史』1「昭和初期」学芸書林，1969年6月。

『東京電燈株式会社開業五十年史』新田宗雄編，同社，1936年8月。

東京統計協会編『日本帝国統計全書』（東京統計協会創立50周年記念）東京統計協会，1928年5月。

東京日日新聞社経済部編『経済風土記』「北海道・信越の巻」刀江書院，1930年1月。

東洋経済新報社『地方金融の検討』東洋経済新報社，1942年 月。

東洋経済新報社編『金融六十年史』東洋経済新報社，1924年12月。

——『明治大正国勢総覧』（東洋経済創刊三十周年記念）同社，1927年8月。

——『物価二十年（上昇期の内外物価——重要商品の需給と統制概況——）』（『東洋経済新報』昭和11年新年号付録）同社，1936年1月。

——『昭和産業史』第3巻「統計編」（東洋経済創刊五十五周年記念）同社，1950年6月。

富樫伊右衛門『石狩川流域開発秘史』（富樫伊右衛門自伝）白楊社，1973年7月：改訂増補版（石狩川流域37市町村名鑑および自伝），同社，1981年3月。

『十勝岳爆発災害志』十勝岳罹災者救済会（北海道庁学務部社会課内），1929年3月。

戸部良一『日本陸軍と中国——「支那通」にみる夢と蹉跌』選書メチエ173，講談社，1999年12月。

富原章『箱館から函館へ〜函館古地図再現〜』栗野純編集制作，財団法人函館文化会，1998年2月。

刀祢館正久『円の百年——日本経済側面史』選書318，朝日新聞社，1986年11月。

外山茂『金融界回顧五十年——湧く水清き国』東洋経済新報社，1981年11月。

豊川卓二・岡田和喜・大野和編『産業革命期の金融』東洋経済新報社，1984年5月。

【ナ】

内藤民治『堤清六の生涯』曙光会（日魯漁業出張所内，函館市真砂町）1937年8月：復刻版，株式会社ニチロ，2001年3月。

- 長澤士朗『日本の電力王 福沢桃介』でんきの科学館(名古屋市中区栄)1994年7月。
- 『中条町史』第4巻「資料編 近現代」中条町史編さん委員会編, 新潟県北蒲原郡中条町, 1989年3月。
- 永原慶二・朝尾直弘・江口圭一・吉田孝編『体系 日本の歴史』第12巻「開国と維新」(ペリー来航～西南戦争)石井寛治執筆, 小学館, 1989年3月:復刻版, ライブラリー1012, 同社, 19年 月。
- 第13巻「近代日本の出発」(自由民権～大正政変)坂野潤治執筆, 同社, 1989年4月:復刻版, ライブラリー1013, 同社, 19年 月。
- 第14巻「二つの大戦」(第一次世界大戦～敗戦)江口圭一執筆, 同社, 1989年5月:復刻版, ライブラリー1014, 同社, 1993年8月。
- 中林真幸『近代資本主義の組織——製糸業の発展における取引の統治と生産の構造』東京大学出版会, 2003年6月。
- 中村健之介『宣教師ニコライと明治日本』新書新赤版458, 岩波書店, 1996年8月。
- 中村隆英『戦前期日本経済成長の分析』岩波書店, 1971年8月。
- 『昭和恐慌と経済政策——ある大蔵大臣の悲劇』(『経済政策の運命』新書66, 1967年刊を第2刷に際し改題・加筆)新書288, 日本経済新聞社, 1982年9月:復刻版, 『昭和恐慌と経済政策』(底本『経済政策の運命』)学術文庫1130, 講談社, 1994年6月。
- 中山隆志『関東軍』選書メチエ180, 講談社, 2000年3月。
- 名島武治『北海魔王 小林幸太郎君』伊坂出版部(東京市京橋区霊巖島町)1927年6月。
- 灘山日吉編『日本橋四日市組魚市場組合沿革史』1936年 月。
- 『南都銀行五十年史』南都銀行行史編纂室編, 同行(奈良市橋本町), 1985年6月。

【二】

- ニコライ『ニコライの見た幕末日本』(原題『キリスト教宣教師の観点から見た日本』)中村健之介訳・解説, 学術文庫393, 講談社, 1979年5月。
- 西川俊作・西澤直子編『ふだん着の福澤諭吉』Keio UP選書, 慶應義塾大学出版会, 1998年8月。
- 西谷彌兵衛『池田成彬伝』(『日本財界人物伝全集』第3巻)東洋書館, 1954年7月。
- 西春彦『回想の日本外交』新書青版550, 岩波書店, 1965年2月。
- 西村通男『海商三代——北前船主西村屋の人びと』新書37, 中央公論社, 1964年3月。
- 『日魯漁業経営史』第1巻(岡本信男編, 日魯漁業企画制作, 加藤琢治監修)水産社, 1971年12月。
- 第2巻(横山進編)株式会社ニチロ, 1995年11月。
- 『日本勧業銀行三十年史』豊田久和保編, 同行, 1927年12月。
- 『日本勧業銀行四十年史』後藤幸雄編, 同行調査課, 1938年1月。
- 『日本勧業銀行史』武田満作編, 同行調査部, 1953年6月。
- 『日本勧業銀行六十年史』同上, 1957年8月。
- 『日本勧業銀行七十年史』中村孝士編, 同行, 1967年8月。
- 日本銀行小樽支店『小樽金融経済100年史』(小樽支店100周年記念)1993年4月。
- 日本銀行金融研究所編『〈新版〉わが国の金融制度』(鈴木淑夫編集)日本銀行金融研究所, 1986年8月:『新版 わが国の金融制度』(黒田巖編集)同所, 1995年4月。
- 『日本金融史資料 昭和続編』付録第1巻「地方金融史資料(一)」(北海道・東北・関東地方)土屋喬雄監修, 大蔵省印刷局, 1986年12月。
- 『日本金融年表(明治元年～昭和62年)』(三宅純一編集)日本銀行金融研究所, 1988年8月:増補版, 同『<増補・改訂>日本金融年表(明治元年～平成4年)』(澤元一穂編集)同所, 1993年10月。
- 日本銀行調査局『世界戦争終了後ニ於ケル本邦財界動揺史』1924?年:同名書, 後掲, 日本銀行調査局編『日本金融史資料 明治大正編』第22巻所収。
- 『関東震災ヨリ昭和二年金融恐慌ニ至ル我財界』1933年9月:同名書, 同上書所収。
- 日本銀行調査局特別調査室編『満州事変以後の財政金融史』1948年12月:同名書, 後掲, 日本銀行調査局編『日本金融史資料 昭和編』第27巻所収。

日本銀行調査局編『日本銀行の沿革と現状概説（増補改訂版）』（調内第1号）日本銀行調査局，1954年10月。

- 『日本銀行』（調特別特第1号）同局，1962年1月。
- 『日本金融年表』（調特別特第3号）同，1961年6月。
- 『日本銀行関係法令の変遷』（調特別特第6号）同，1962年11月。
- 『日本金融史資料 明治大正編』第14巻「帝国議会議事速記録中金融資料（上巻）」（通貨関係，日本銀行・国立銀行・普通銀行・貯蓄銀行関係，第4回帝国議会より第51回帝国議会まで）土屋喬雄監修，大蔵省印刷局，1961年3月。
- 『日本金融史資料 明治大正編』第15巻「帝国議会議事速記録中金融資料（下巻）」（特殊銀行関係，第9回帝国議会より第51回帝国議会まで）同局，1961年3月。
- 第21巻「金融情勢調査（下）」（日本銀行調査月報，大正9年1月—昭和元年12月）同，1959年9月。
- 第22巻「金融情勢特別調査」同，1958年9月。
- 『日本金融史資料 昭和編』第1巻「大蔵省銀行局年報（其の一）」（昭和2年・第52次報告〜4年・第54次報告）土屋喬雄監修，大蔵省印刷局，1961年10月。
- 第2巻「大蔵省銀行局年報（其の二）」（昭和5年・第55次報告〜7年・第57次報告）同局，1961年12月。
- 第9巻「日本銀行調査月報（下）」（昭和17年〜20年，および「金融概況」昭和17年1月〜19年9月，「銀行事項月報」昭和2年1月〜20年12月，「日本銀行調査月報」付属「統計」昭和3年11月号〜20年11月号）同，1964年12月。
- 第17巻「帝国議会議事速記録中金融関係資料（五）昭和十三年—十五年」（第73回帝国議会より第75回帝国議会まで）同，1967年2月。
- 同，第18巻「帝国議会議事速記録中金融関係資料（六）昭和十六年—十七年」（第76回帝国議会より第79回帝国議会まで）同，1967年6月。
- 第20巻「金輸出解禁・再禁止関係資料（一）」（金輸出解禁・再禁止一般）同，1968年2月。
- 第21巻「金輸出解禁・再禁止関係資料（二）」（法令および帝国議会議事速記録，日本銀行資料，大蔵省資料，決議・声明，演説，談話）同，1968年6月。
- 第22巻「金輸出解禁・再禁止関係資料（三）」（単行本掲載論説）同，1968年10月。
- 第23巻「金輸出解禁・再禁止関係資料（四）」（雑誌掲載論説，新聞掲載論説，懇談会・座談会，世論調査）同，1969年2月。
- 第24巻「金融恐慌関係資料（一）」（金融恐慌一般）同，1969年7月。
- 第25巻「金融恐慌関係資料（二）」（法令，日本銀行資料，大蔵省資料，帝国議会議事速記録，声明・通牒・建議，演説，参考資料）同，1969年10月。
- 第26巻「金融恐慌関係資料（三）」（単行本掲載資料，雑誌掲載資料，新聞掲載資料）同，1970年2月。
- 第27巻「戦時金融関係資料（一）」（戦時金融一般・その一）同，1970年6月。
- 第31巻「戦時金融関係資料（五）」（単行本掲載資料）同，1971年10月。
- 第34巻「戦時金融関係資料（八）」（要綱・声明・通牒・建議，法令）同，1973年5月。
- 第35巻「金融史談・資料総覧・統計索引」同，1974年5月。
- 『わが国の金融制度』初版，日本銀行調査局，1966年6月；第6版（改訂・増補版）同局，1969年4月；第7版，同，1971年9月。

日本銀行調査統計局編『明治以降 卸売物価指数統計』（100周年記念資料，南原見編集）日本銀行，1987年10月；復刻版，同局編『明治以降 卸売物価指数統計』上・下巻，石井寛治解説，並木書房，1999年9月。

日本銀行統計局編『戦時中金融統計要覧——昭和12年から昭和20年8月まで』日本銀行統計局，1947年10月。

- 『日本経済統計——明治以降』同局，1962年。
- 『本邦主要経済統計』大里勝馬編集，同局，1966年7月；復刻版，同局編『明治以降 本邦主要経済統計』石井寛治解説，並木書房，1999年7月。

日本銀行函館支店「函館支店（出張所，北海道支店）長一覧」（行内資料，平成13年現在）。

- 『函館支店100年のあゆみ』（行内資料）1993年4月。

『日本銀行八十年史』日本銀行史料調査室編，同調査室，1962年10月。

『日本銀行百年史』日本銀行百年史編纂委員会編，第1巻（銀本位・金本位制度時代，明治元年～29年）同行，1982年10月。

—— 第2巻（銀本位・金本位制度時代，明治30年～大正8年）同行，1983年6月。

—— 第3巻（銀本位・金本位制度時代，大正9年～昭和6年）同，1983年11月。

—— 第4巻（管理通貨制度時代，昭和7年～20年）同，1984年6月。

—— 『資料編』（年表・法令・統計・参考文献・索引）同，1986年9月。

日本経済史研究所編『日本経済史辞典』上・下・索引全3巻，本庄栄治郎・黒正巖・菅野和太郎・中村直勝監修，日本評論社，1940年1月：縮刷版，経済史研究会編，同上4名監修，日本評論新社，1954年10月。

日本経済新聞社編『手形の常識』新書，日本経済新聞社，1978年月。

『日本興業銀行最近十年史』葛雄一郎編，同行調査課，1934年12月。

『日本興業銀行五十年史』日本興業銀行臨時史料室編，同史料室，1957年9月。

『日本興業銀行五十年史年表』同上。

『日本興業銀行七十五年史』日本興業銀行年史編纂委員会編，同行，1982年3月。

『日本興業銀行七十五年史別冊』（「計表・図表・法令・定款および年表」）同上。

日本興業銀行『事業会社系譜集』同上。

『日本興業銀行百年史』日本興業銀行年史編纂室編，同行，2002年1月。

日本統計研究所編『日本経済統計集——明治・大正・昭和』大内兵衛監修，日本評論新社，1958年4月。

『日本のリーダー』7「実業界の巨頭」竹内宏概説，TBSブリタニカ，1983年8月。

『日本のリーダー』13「激動昭和の領袖」原田勝正概説，同社，1982年12月。

『日本不動産銀行十年史』日本不動産銀行十年史編纂室編，同行，1967年10月。

日本放送協会札幌放送局編『北海道の歴史』高倉新一郎述，富貴堂書房（札幌市），1933年7月。

【ノ】

野田貞信編『銀行大鑑』（設立満10周年記念）日本金融通信社，1933年11月：復刻版，1965年11月。

【ハ】

函館銀行『取締役監査役 会議記事』北海道開拓記念館所蔵。

『函館區史』河野常吉編，函館区役所，1911年7月。

『函館市誌』佐藤勘三郎編，函館日日新聞社，1935年12月。

『函館市史 資料編』第2巻，函館市史編さん室編，同市，1975年月。

『函館市史 通説編』第2巻（近・現代編その1）同上，1990年11月

—— 第3巻（近・現代編その2）同上，1997年3月。

『函館新聞』昭和3（1928）年3月1日（木曜日）付。

—— 昭和14（1939）年4月8日（曜日）付。

『函館毎日新聞』昭和3（1928）年3月1日（木曜日）付。

羽間乙彦『昭和恐慌の政治経済学——井上準之助を評定する』上・中・下巻，十一房出版，1982年6月。

狭間源三（ほか4名）編『講座 日本資本主義発達史論』I「形成期の日本資本主義」日本評論社，1968年10月。

—— II「第一次大戦前後」同社，1968年11月。

—— III「恐慌から戦争へ」同，1968年12月。

—— IV「第二次世界大戦後」同，1969年1月。

—— V「昭和30年代」同，1969年2月。

橋本堯尚・坂井示右直『小樽の人と名勝』小樽出版協会，1931年月。

橋本昌武編『函館病院120年史』市立函館病院，1982年10月。

旗手勲「沖縄と北海道二 日本資本主義と北海道開拓」前掲，家長ほか編『岩波講座 日本歴史』第16巻所収。

波多野勝『浜口雄幸——政党政治の試験時代』新書1115，中央公論社，1993年1月。

- 馬場伸也『満州事変への道——幣原外交と田中外交』新書302, 中央公論社, 1972年10月。
- 濱口富士子編『随感録』（濱口雄幸遺稿集）三省堂, 1931年9月。
- 原朗編『日本の戦時経済——計画と市場』東京大学出版会, 1995年 月。
- 『復興期の日本経済』東京大学出版会, 2002年7月。
- 原邦道『昭和金融恐慌の教えるもの』全国地方銀行協会, 1958年 月。
- 『邦道随想録』講談社, 1974年 月。
- 原司郎『明治前期金融史』東洋経済新報社, 1965年5月。
- 原田熊雄『西園寺公と政局』第1巻（昭和3年—5年）岩波書店, 1950年6月。
- 第2巻（昭和6年7月—8年1月）同書店, 1950年11月。
- 原田裕編『昭和人物史』（『キング』第33巻第12号付録）大日本雄弁会講談社, 1957年12月。

【ヒ】

- 百十三銀行『百十三銀行本店重役席 毎半期本支店営業実績概算表』北海道開拓記念館所蔵。
- 『重役会議事録』同上所蔵。
- 『常務重役協議要録』同。
- 『監査役協議録』同。

【フ】

- 深井英五『通貨調節論』日本評論社, 1928年6月；改訂版『新訂 通貨調節論』同社, 1938年11月。
- 『通貨問題としての金解禁』同社, 1929年10月。
- 『金本位制離脱後の通貨政策』千倉書房, 1938年5月；増補版, 同書房, 1940年6月。
- 『回顧七十年』岩波書店, 1941年11月。
- 深井清蔵『函館名士録』函館名士録発行所（函館市八幡町）1936年2月。
- 福澤桃介『財界人物我観』ダイヤモンド社, 1930年2月；復刻版, 福澤桃介『財界人物我観』（小島直記監修『経済人叢書』第4巻）平岩外四（東京電力会長）解説, 図書出版社, 1990年3月。
- 『桃介夜話』先進社, 1931年5月。
- 福田越夫『回顧九十年』岩波書店, 1995年3月。
- 福田和也『地ひらく——石原莞爾と昭和の夢』文芸春秋, 2001年9月。
- 『富士銀行七十年誌』富士銀行七十周年記念事業委員会, 同行（現みずほ銀行）, 1954年3月。
- 『富士銀行八十年史』富士銀行八十年史編纂委員会, 同行, 1960年11月。
- 『富士銀行百年史』富士銀行百年史編纂委員会, 同行, 1982年3月。
- 『富士銀行百年史別巻』同上。
- 藤原彰・今井清一編『十五年戦争史』1「満州事変」青木書店, 1988年6月。
- 2「日中戦争」同書店, 1988年7月。
- 3「太平洋戦争」同, 1989年1月。
- 4「占領と講和」同, 1989年3月。
- 藤村健次『濱口雄幸』日吉堂本店, 1930年12月。
- 藤村忠「北海道金融史（Ⅰ）……〔明治前期〕」北海学園大学『経済論集』第20巻第4号（1973年2月）所収。
- 「北海道金融史（Ⅱ）……〔明治後期以後〕」同上誌第21巻第3号（1973年11月）所収。
- 藤本英夫『天才アイヌ人学者の生涯——知里真志保評伝』講談社, 1970年3月。
- 『銀のしずく降る降る』選書, 新潮社, 1973年11月；増補版『銀のしずく降る降るまわりに——知里幸恵の生涯』草風館, 1991年6月。
- 『知里真志保の生涯』選書, 新潮社, 1982年7月；増補版『知里真志保の生涯——アイヌ学復権の闘い』草風館, 1994年6月。
- 古屋哲夫『日露戦争』新書110, 中央公論社, 1966年8月。

【ヘ】

- 閉鎖機関整理委員会編『閉鎖機関とその特殊精算』在外活動関係閉鎖機関特殊精算事務所, 1954年3月。
- 別冊歴史読本『明治・大正を生きた15人の女たち——女性抑圧社会の中で彼女たちはどう生きたか』(伝記シリーズ15, 通巻15号〈第5巻第2号〉) 新人物往来社, 1980年4月。
- 別冊歴史読本特別増刊『日本史有名人の子孫たち』(通巻54号〈第21巻第24号〉) 同社, 1996年6月。

【ホ】

- 『北洋相互銀行五十年史』北洋相互銀行行史編さん室編, 同行(現北洋銀行, 札幌市中央区大通) 1970年6月。
- 北陸銀行調査部百年史編纂班編『創業百年史』同行(富山市堤町通り) 1978年3月。
- 『北海信用金庫五十年史』北海信用金庫年史編纂室編, 同金庫(北海道余市郡余市町黒川町) 森静朗監修, 1976年7月。
- 『北海タイムス』昭和3(1928)年3月1日(木曜日)付。
- 『北海貯蓄銀行二十年史』西辻巖編, 同行, 1942年5月。
- 北海道開拓記念館編『北海道拓殖銀行資料目録・1』(「北海道開拓記念館一括資料目録」第34集) 北海道開拓記念館, 2000年3月。
- 『北海道拓殖銀行資料目録・2』(同, 第35集) 同館, 2001年3月。
- 『北海道教育大学旭川分校創立六十年史』北海道教育大学旭川分校創立六十周年記念誌編集委員会編, 同記念事業実行委員会, 1984年6月。
- 北海道銀行『株式会社北海道銀行創立三十年記念誌 大正十三年六月』北海道銀行, 1924年7月, 北海道開拓記念館所蔵。
- 『株式会社北海道銀行創立五十周年記念 昭和十九年三月十五日』同行, 1944年2月, 同記念館所蔵。
- 『重役会議事録』同行, 同上所蔵。
- 『北海道銀行三十年史』北海道銀行30年史編纂室編, 同行(札幌市中央区大通) 1983年6月。
- 『北海道新聞』平成10(1998)年1月3日(土曜日)付, 朝刊。
- 平成11(1999)年10月1日(金曜日)付, 夕刊。
- 北海道新聞社編『人脈北海道——市町村長編』同社, 1973年3月。
- 『人脈北海道——金融界編』同社, 1973年10月。
- 『人脈北海道——作家・評論家編』同社, 1974年3月。
- 『人脈北海道——赤レンガ編』同社, 1974年4月。
- 『人脈北海道——学界編』上・下2冊, 同社, 1976年7月, 8月。
- 『拓銀はなぜ消滅したか』同上, 1999年3月。
- 北海道総務部文書課編『北海道回想録』北海道, 1964年2月。
- 『北海道のあゆみ』同上, 1968年9月。
- 北海道大学工学部旧合成化学工学科化学工業材料研究室記念誌刊行会編『役に立たないことを教えた人と教わった人たち』(相馬純吉名誉教授遺稿・追悼集) 朝日新聞出版サービス, 1998年10月。
- 『北海道大百科事典』上, 北海道新聞社, 1981年 月。
- 『北海道拓殖銀行創業十年誌』同行, 1910年10月。
- 『北海道拓殖銀行業務沿革小史』同行, 1914年3月。
- 『北海道拓殖銀行小史』同行, 1916年5月。
- 『北海道拓殖銀行二十年誌』同行, 1920年4月。
- 『北海道拓殖銀行五十年史』同行五十周年記念事業委員会, 同行, 1950年4月。
- 『北海道拓殖銀行創立五十周年記念アルバム』同上。
- 『北海道拓殖銀行史』(創立70周年記念) 酒井一夫・荳野寿衛吉監修, 同行, 1971年4月。
- 北海道拓殖銀行『北海道の拓殖と金融』児玉亮太郎執筆, 同行, 1907年3月。
- 『北海道金融沿革一斑』同行, 1911年8月。
- 『北海道金融史』同行, 1918年8月。

- 『北海道金融史』同行，1922年7月：復刻版，同行編，同行調査部企画課，1949年3月。
- 『北海道及樺太各銀行 預金貸付高調』各年版，同行。
- 『北海道及樺太各銀行 預金貸付金高調』各年版，同行。
- 『北海道及樺太 預金貸付金高調』各年版，同行。
- 同行調査課編『北海道及樺太 経済統計要覧』各年版，同行調査課。
- 『北海道及樺太 株式会社集覧』各年版，同課。
- 同行調査部『北海道の拓殖と金融』（『行報別冊』1）同部，1947年2月。
- 『道内地方経済力の測定』（『調査資料』第18集，宮本茂樹執筆）同部，1952年10月。
- 『北海道金融機関沿革史』（『調査資料』第22集，宮本茂樹執筆）同部，1953年4月。
- 『電気事業に関する調査——北海道を中心として』（『調査資料』第23集，清水健二郎執筆）同上。
- 『北海道の振興工業について』（『調査資料』第30集，清水健二郎筆）同部，1955年5月。
- 『我国の戦後における旧特別銀行の普通銀行化について』（『調査資料』第34集，佐藤光夫執筆）同部，1957年2月。
- 北海道庁『北海道概況』道庁，各年版。
- 『北海道の現状』同上。
- 北海道庁経済部商工課『最近の北海道』北海道庁，1936年9月。
- 北海道庁編『開道七十年』道庁，1938年8月。
- 北海道道史編集所編『新北海道史』第4巻「通説3」（明治維新より第一次大戦まで）高倉新一郎監修，北海道，1973年8月。
- 第5巻「通説4」（第一次大戦後より第二次大戦終結まで）同，1975年3月。
- 第9巻「史料3」（年表・統計・索引）同，1980年11月。
- 北海道編『新北海道史年表』北海道出版企画センター，1989年3月。
- 北海道立労働科学研究所『本道の金融・財政統計資料』（『研究調査報告』第27号）1950年12月。

【マ】

- 前田河広一郎『蒼龍』鱗書房，1940年 月。
- 増田弘 『石橋湛山——リベラリストの真髄』新書1243，中央公論社，1995年5月。
- 升味準之輔『日本政治史』1「幕末維新，明治国家の成立」東京大学出版会，1988年3月。
- 2「藩閥支配，政党政治」同会，1988年5月。
- 3「政党の凋落，総力戦体制」同，1988年7月。
- 4「占領改革，自民党支配」同，1988年12月。
- 松尾尊弘編『石橋湛山評論集』文庫，岩波書店，1984年8月。
- 松岡僖一『幻視の革命——自由民権と坂本直寛』朝日新聞社，1986年9月。
- 松岡孝児『金為替本位制の研究』日本評論社，1936年6月。
- 松永昌三『福沢諭吉と中江兆民』新書1569，中央公論社，2001年1月。
- 松永安左エ門『自叙傳 松永安左エ門』竹内文平編輯，松永安左エ門口述，昭文閣書房，1931年7月：復刻版『松永安左エ門』（『人間の記録』85），日本図書センター，1999年2月。
- 『松永安左エ門九十歳病床日記』発行・下村亮一，解説・小島直樹，経済往来社，1983年8月。
- 松成義衛・三輪徳三・長幸男『日本における銀行の発達』青木書店，1959年11月。
- 松本清張『史観・宰相論』文芸春秋社，1980年12月。
- 丸山昇 『ある中国特派員——山上正義と魯迅』新書441，中央公論社，1976年8月。

【ミ】

- 三上隆三『円の誕生——近代貨幣制度の成立』東洋経済新報社，1975年8月：増補版，1989年3月。
- 『渡来銭の社会史』新書862，中央公論社，1987年12月。
- 『円の社会史』新書937，中央公論社，1989年8月。

三井銀行小樽支店『北海道における三井銀行の歩み』（開設75周年記念）同行（太陽神戸三井銀行・さくら銀行をへて現三井住友銀行）1955年10月。

三井銀行調査部『物語 三井両替店——三井銀行三〇〇年の原点』大谷明史執筆，東洋経済新報社，1984年6月。

『三井銀行五十年史論』小林忠太郎編，同行，1926年9月。

『三井銀行八十年史』三井銀行八十年史編纂委員会編，同行，1957年11月。

『三井銀行 一〇〇年のあゆみ』日本経営史研究所編，同行，1976年7月。

『三井両替店』同上，1983年7月。

満田巖 『昭和風雲録』新紀元社，1940年12月。

三橋規宏・内田茂男『昭和経済史』下（昭和50年代—80年代）文庫，日本経済新聞社，1994年 月

『三菱銀行史』三菱銀行史編纂委員会編，同委員会，1954年8月：復刻版，三菱銀行調査部銀行史編纂室編，同行（現東京三菱銀行）1980年9月。

『続三菱銀行史』三菱銀行調査部銀行史編纂室編，同行，1980年9月。

濠正雄 『アイヌ民族誌と知里真志保さんの思い出』築地書館，1982年12月。

宮岡謙二『異国遍路 死面列伝，旅芸人始末書』私家版，1954年4月。

—— 『異国遍路 旅芸人始末書』修道社，1959年7月：改訂版，同社，1974年11月：文庫版，中央公論社，1978年5月。

—— 『娼婦 海外流浪記——もうひとつの明治』新書606，三一書房，1968年3月。

宮川隆泰『岩崎小彌太——三菱を育てた経営理念』新書1317，中央公論社，1996年8月。

三宅晴輝『電力コンツェルン読本』（「コンツェルン全書」XⅢ）1937年12月：復刻版，「日本コンツェルン全書」第13巻，日本図書センター，1999年1月。

—— 『松永安左エ門』（「一業一人伝」）時事通信社，1961年6月。

宮寺敏雄『財界の鬼才——福沢桃介の生涯』四季社，1953年12月。

宮本又次『豪商——日本の町人』新書132，日本経済新聞社，1970年11月。

宮本又次・内田勝敏『日本貿易人の系譜——総合商社への道のり』選書379，有斐閣，1980年3月。

宮本盛太郎編『近代日本政治思想の座標——思想家・政治家たちの対外観』選書138，有斐閣，1987年11月。

【ム】

武藤山治『私の身の上話』私家版（武藤金太発行）1934年6月。

武藤正明『大正8年の金融政策』（日本銀行調査部図書資料課，行内印刷「資料」）1975年10月。

【モ】

毛利敏彦『大久保利通』新書190，中央公論社，1969年5月。

—— 『明治六年政変』新書561，同社，1979年12月。

Morris-Suzuki, Tessa I. J., *A HISTORY OF JAPANESE ECONOMIC THOUGHT*, Routledge, London, 1989: 邦訳，テッサ・モーリスー鈴木『日本の経済思想——江戸期から現代まで』藤井隆至訳，岩波書店，1991年11月。

森義一『矢橋南圃翁伝』（矢橋亮吉追悼集）合資会社矢橋大理石商店（岐阜県大垣市赤坂町）1965年3月。

【ヤ】

矢尾板正雄『昭和金融政策史』皇国青年教育協会，1943年3月。

『安田銀行六十年誌』安田銀行六十周年記念事業委員会，同行（富士銀行をへて現みずほ銀行）1940年9月。

安富歩 『「満州国」の金融』創文社，1997年 月。

矢田虎楠『小林法運先生の半生』報恩同志会。

矢田弥八『激流の人——電力王福沢桃介の生涯』光風社書店，1968年7月。

柳澤健 『財界回顧』池田成彬述，世界の日本社，1949年7月：復刻版，柳澤健編『池田成彬 財界回顧』吉野俊彦（山一證券研究所特別顧問）解説，図書出版社，1990年4月。

- 矢野恒太記念会編『数字でみる日本の100年』（第4版）国勢社，2000年12月。
- 矢野文雄『安田善次郎伝』合名会社安田保善社，1925年7月。
- 山口和雄『明治前期経済の分析』東京大学出版会，1956年9月。
- 『日本経済史』（『経済学全集』12）筑摩書房，1968年2月。
- 『日本経済史』（『第二版 経済学全集』5）同書房，1976年7月。
- 山口和雄・加藤俊彦編『両大戦間の横浜正金銀行』日本経営史研究所，1988年12月。
- 山口茂「日本金融史の一節」新庄博・高橋泰蔵・鹽野谷九十九編『高垣寅次郎先生還暦記念論文集』高垣寅次郎先生還暦記念論文集刊行會，1952年11月所収。
- 山口玲子『女優貞奴』新潮社，1982年8月。
- 山崎寛次郎監修・橋爪明男編輯『金融大辞典』全3巻，日本評論社，1934年6，7，8月。
- 山崎廣明『昭和金融恐慌』東洋経済新報社，2000年 月。
- 山崎隆三『近代日本経済史の基本問題』ミネルヴァ書房，1989年4月。
- 山崎隆三編『両大戦間期の日本資本主義』上・下巻（現代資本主義叢書9・10）大月書店，1978年11月，12月。
- 山田豪一『満鉄調査部——栄光と挫折の四十年』新書279，日本経済新聞社，1977年9月。
- 山室信一『キメラ——満州国の肖像』新書1138，中央公論社，1993年7月；増補版，2004年7月。
- 山室宗文『我国の金融市場』日本評論社，1926年4月。
- 『我国の金融市場（続編）』同社，1928年4月。
- 『金解禁を中心とする我国経済及金融』（『経済学全集』第46巻）改造社，1931年5月。
- 『世界経済の動向と金本位制の将来』（『経済学全集』第55巻）同社，1933年8月。
- 山本達雄先生伝記編集会編『山本達雄』同編集会（信越化学工業株式会社内）1951年3月。
- 山本有造『両から円へ——幕末・明治前期貨幣問題研究』ミネルヴァ書房，1994年2月。
- Young, Louise, *JAPAN'S TOTAL EMPIRE: Manchuria and the Culture of Wartime Imperalism*, the University of California Press, 1998；邦訳，ルイーズ・ヤング『総動員帝国——満州と戦時帝国主義の文化』加藤陽子・川島真・高光佳絵・千葉功・古市大輔共訳，岩波書店，2001年2月。

【ユ】

湯沢誠「北海道における地場資本の活動について」農林省農業総合研究所北海道支所『北季報』第17号，1957年10月所収。

【ヨ】

- 吉川光治『徳川封建経済の貨幣的機構』法政大学出版局，1991年月。
- 吉田賢一「金解禁（昭和5～6年）の歴史的意義——井上準之助の緊縮財政政策——」北海道大学『経済学研究』第38巻第3号（1988年12月）所収。
- 「金解禁問題と石橋湛山——新旧両平価概念の現代的評価——」同上誌第43巻第3号（1993年12月）所収。
- 「金融危機下の北海道金融界と銀行合同——百十三銀行・（旧）北海道銀行・北海道拓殖銀行を中心として——」地方金融史研究会編『地方金融史研究』第31号（社団法人全国地方銀行協会，2000年3月）所収。
- 「北海道における銀行合同——函館銀行・百十三銀行・（旧）北海道銀行の合同関係を中心として——」前掲，石井・杉山編『金融危機と地方銀行』所収，第6章。
- 「両大戦間における北海道内地方銀行（上）——函館銀行・百十三銀行・（旧）北海道銀行を中心として——」前掲『地方金融史研究』第32号（2001年3月）所収。
- 「両大戦間における北海道内地方銀行（中）」同上誌第33号（2002年3月）所収。
- 「両大戦間における北海道内地方銀行（下1）」同第34号（2003年3月）所収。
- 「両大戦間における北海道内地方銀行（下2・完）」同第35号（2004年3月）所収。
- 日本地方金融史「北海道」編，前掲，地方金融史研究会『日本地方金融史』所収。

吉田曠二『龍馬復活——自由民権家 坂本直寛の生涯』朝日新聞社, 1985年3月。

吉野俊彦『我国金融制度の研究』実業之日本社, 1954年1月。

——『我が国の金融制度と金融制度』至誠堂, 1955年1月。

——『円の歴史』新書, 至誠堂, 1955年10月。

——『歴代日本銀行総裁論——日本金融政策史の研究』ダイヤモンド社, 1957年3月:増補改訂版, 毎日新聞社, 1976年3月。

——『日本銀行制度改革史』東京大学出版会, 1962年5月。

——『忘れられた元日銀総裁——富田鉄之助伝』東洋経済新報社, 1974年1月。

——『日本銀行史』全5巻, 春秋社, 1975年11月, 76年9月, 77年10月, 78年5月, 79年2月。

【リ】

立憲政友会本部編『高橋是清翁八十年史』立憲政友会本部, 1934年 月。

【レ】

歴史学研究会編『世界史年表』机上版, 岩波書店, 1995年1月。

——『日本史資料』4「近代」, 岩波書店, 1997年7月。

——5「現代」同書店, 1997年4月。

——『日本史年表 増補版』机上版, 岩波書店, 1995年1月。

【ワ】

若井武一『昭和五年小樽金融界の近況——小樽金融界の近時の状況に関する調査』小樽高等商業学校産業調査会, 1930年10月, 小樽商科大学ビジネス創造センター所蔵。

若槻禮次郎『古風庵回顧録——明治・大正・昭和政界秘史』読売新聞社, 1950年3月:改訂版, 若槻礼次郎『古風庵回顧録』伊藤隆解説, 同社, 1975年5月:復刻版, 若槻禮次郎『明治・大正・昭和政界秘史——古風庵回顧録』伊藤隆解説, 学術文庫619, 講談社, 1983年10月。

渡辺幾次郎『大隈重信』大隈重信刊行会(虎ノ門会館内)1952年10月。

渡辺佐平・北原道貫編『銀行』(『現代日本産業発達史』第26巻)交詢社出版局, 1966年8月。

渡辺茂編『北海道歴史事典』北海道ライブラリー16, 北海道出版企画センター, 1982年1月。

渡辺利三郎『福寿翁』(渡辺福三郎小伝, 福三郎は七代治右衛門・福秀の養嗣子である八代治右衛門・信明, 旧姓大河原, 1816-82, 戒名聴泉院)の三男で九代治右衛門(新太郎, 1847-1909, 戒名宏徳院)の弟, 1855-1934)私家版, 1950年 月。

渡辺秀(ヒイツ, 六郎長男)『渡辺六郎家百年史』(六郎は九代治右衛門の五男で, 十代治右衛門(源次郎, 九代次男, 1871-1930, 戒名寛弘院)の三弟, 1887-1962)私家版, 1989年 月。

渡邊行男『重光葵——上海事変から国連加盟まで』新書1318, 中央公論社, 1996年8月。

渡辺龍策『馬賊——日中戦争史の側面』新書40, 中央公論社, 1964年4月。

(よしだ けんいち・本学一般教育部社会系科目担当助教授・貨幣金融論専攻)